

5月・6月は赤十字運動月間です。

+ 日本赤十字社 千葉県支部
Japanese Red Cross Society

日本赤十字社千葉県支部

検索

TEL : 043-241-7531



人間を救うのは、人間だ。
これからも命を救う活動が続いていくために、
みなさまからの活動資金が必要です。



救護活動

日本赤十字社では、災害時に備えて、赤十字病院の医師、看護師などを中心に編成される救護班を全国で495班(5,312人)を常備しています。今回の大震災では、岩手県、宮城県、福島県を中心にこれまで延べ935班の救護班が派遣され、8万7千人を超える方々へ医療サービスを提供しました。
現在も福島県における原発事故避難住民の警戒区域への一次立ち入りに伴う救護活動を展開しています。



皆さまからの活動資金が
東日本大震災での活動に
役立ちました。

支援に感謝をこめて
ありがとうございました

こころのケア活動

大規模な災害により、家族や友人を失ったり、避難生活が長期化する中で、被災者の抱える不安やストレス、心身の疲労を軽減するための「こころのケア」が必要となりました。
日本赤十字社は、専門の研修を受けたこころのケア要員を、地域の避難所等に派遣し、巡回などを行いました。



ボランティア活動

被災された方々の生活支援や避難所での様々なニーズに対応するための、全国で赤十字ボランティア延べ16万人以上が被災地での活動や後方支援活動を行っています。千葉県支部では、各種奉仕団が義援金の募集を始め、災害救援物資の積み込み作業や避難所での食事の手伝い、清掃、お年寄りの話し相手など被災地において様々な活動を行いました。



救護物資の配布

千葉県支部では、県内8カ所(千葉市、船橋市、成田市、市川市、木更津市、茂原市、旭市、南房総市)に災害拠点倉庫を有し、様々な救援物資を普段から備蓄して災害に備えています。
今回の大震災では、全国の赤十字が災害に備え平時から備蓄していた毛布・緊急セット・安眠セットなどを、迅速に被災地に送り、各避難所に配付しました。



東日本大震災に対する千葉県支部からの救援物資配分状況

	配付枚数	配付先
毛布	15,670枚	香取市・成田市・富津市・東金市・銚子市・横芝光町 九十九里町・山武市・旭市・勝浦市・いすみ市・御宿町 南房総市・一宮町・白子町・習志野市・成田空港・宮城県
日用品	2,120セット	銚子市・山武市
ガーゼカット	930枚	成田市・山武市・銚子市・九十九里町・いすみ市
バスタオル	1,010枚	いすみ市・山武市
敷布	700枚	宮城県
安眠セット	1,000セット	旭市・いすみ市・南房総市・宮城県・福島県
緊急セット	366セット	



災害救護体制の充実強化

- 昨年3月の東日本大震災における教訓を踏まえ、近い将来発生が予想される大規模広域災害(東海地震・首都直下地震ほか)への備えを強めます。
- 赤十字奉仕団や防災ボランティアの災害時の活動の機動力を高めます。



国際活動の充実

- 海外の武力紛争、大規模災害等による被災者を救援し地域の復興を支援します。
- 途上国の教育環境整備や保健医療の開発協力を支援します。
- 国際救援活動へ積極的に職員を派遣します。



健康・安全のための知識と技術の普及

- 県民にできる救命手当・応急手当を広く普及します。
- 《急病者や災害における傷病者への適切な手当を行なうための知識と技術を普及させるため、多くの県民の方に、救急法等講習会への受講を勧めています。》



日本赤十字社
千葉県支部では
次の事業に取り組めます。
(平成24年度重点事業)

赤十字奉仕団などの活動

- 各奉仕団の特性を活かして地域のニーズに根ざした活動に取り組めます。
- 災害時の奉仕団の役割と活動を理解し、備えを強めます。
- 全国の赤十字奉仕団と呼応し献血の推進に努めます。
- 地域の学校との連携を強め、学校行事への支援や体験学習に協力し共に子どもを育みます。



義肢製作所の運営

- 身体に障がいを持つ方々の、日常生活での不便を軽減し「苦痛を和らげる」利用者の視点に立った事業経営を行います。



青少年赤十字の活動

- 将来を担う子供たちが、いのちを大切に、思いやりの心をもって「気づき、考え、実行する」態度を身につけ成長するために、活動・体験する機会の提供と関係者の相互交流を促進します。
- 各種奉仕団、地区分区(市町村)との連携を強化し、活動の円滑な運営を図ります。

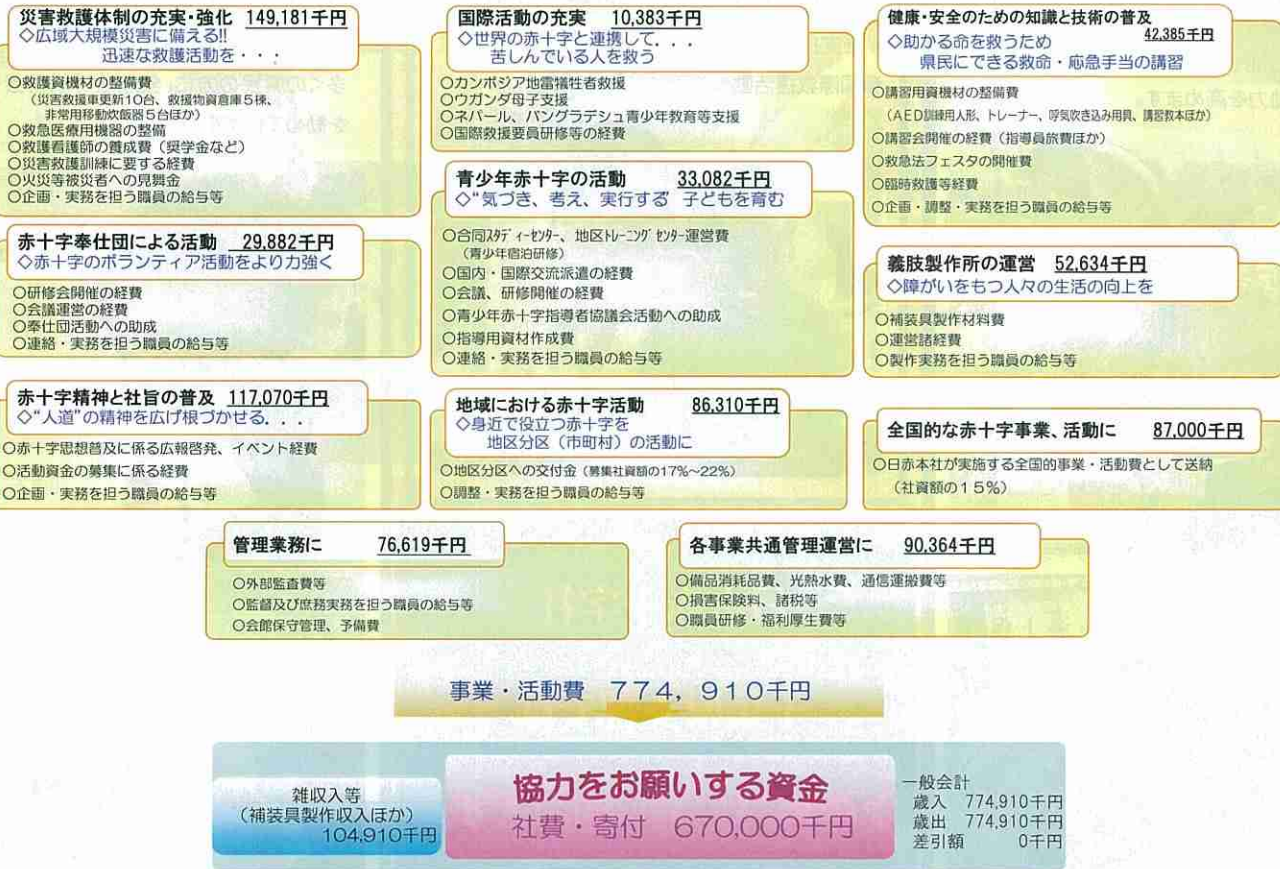


赤十字精神と社旨の普及

- より多くの方々から赤十字事業への理解と支持が得られるよう広報を多彩に展開します。
- 支援をいただいたの方々へ、活動の様子や事業の成果をお知らせします。
- 企業の社会貢献の受け皿となるよう働きかけ、良好な協働関係をつくります。



事業・活動費の総額と内訳(平成24年度予算)



日本赤十字社の活動は、皆様からのご寄付に支えられています。

日本赤十字社の活動はすべて、赤十字の人道的な活動にご賛同いただいた皆様からの寄付金によって賄われています。東日本大震災などの災害時に、迅速に医療救護活動を開始し、継続的に広範囲で展開するためには、多くの活動資金と日頃からの備えが必要です。私たちは、これからの被災地での救護活動だけではなく、各地域でさまざまな人道的な活動を続けてまいります。皆様からのご支援・ご協力をお願いいたします。

日本赤十字社の活動資金

赤十字活動資金は「社費」と「寄付金」に区別されています。「社費」とは社員(会員)として継続して支援いただく会費のことで、「寄付金」とは社費以外の任意の寄付のことです。

●社員(会員)による継続的支援

日本赤十字社は「社員をもって組織する」、「社員は社費として毎年500円以上を納入する」と日本赤十字社法及び同定款に定められております。ここでいう「社員」は株式会社などの会社員という意味ではなく社団法人の社員または会員と同様のものです。

赤十字事業の趣旨を理解し、これを支持する人は老若男女を問わずだれでも社員に申し込むことができます。

●赤十字活動資金へのご協力は、一人ひとりの自由意思でお願いするもので決して強制ではございません。

●赤十字活動資金へのご協力は、郵便局や銀行窓口からのお振り込み、口座引き落としによる方法もございます。

※お問い合わせ・お申し込みについては、下記までご連絡ください。

一世帯あたり500円を目安にご協力をお願いします。



多くの県民の皆さまに支えられ

日本赤十字社千葉県支部は120周年

これからもわたしたちは、

苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、

いかなる状況下でも、

人のいのちと健康・尊厳を守ります。

もっと身近で、もっと信頼される赤十字に!

Our world. Your move.



日本赤十字社 千葉県支部
 Japanese Red Cross Society

〒260-8509 千葉市中央区千葉港5-7
 TEL 043(241)7531(代表)
 FAX 043(248)6812
<http://www.chiba.jrc.or.jp>

